

景気動向指数
平成 23 年 3 月分（速報）の概要

3月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：99.5、一致指数：103.6、遅行指数：88.8となった。（注）

先行指数は、前月と比較して4.5ポイント下降し、5ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.20ポイント下降し、5ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.09ポイント上昇し、4ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して3.2ポイント下降し、5ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.07ポイント下降し、5ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.13ポイント上昇し、20ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して1.7ポイント下降し、2ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は保合いとなり、7ヶ月後方移動平均は0.16ポイント上昇し、15ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。ただし、東日本大震災の影響により、C I一致指数の単月及び3ヶ月後方移動平均の前月差がマイナスに転じている。

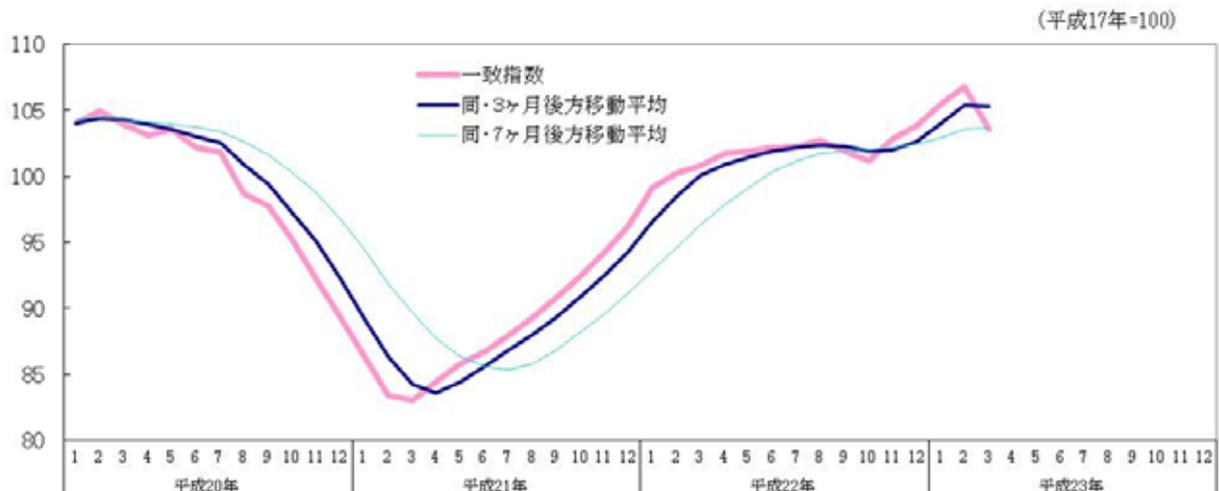
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度	
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.18	C3：大口電力使用量	-0.45	
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.44	
		C1：生産指数(鉱工業)	-0.43	
		C5：所定外労働時間指数(製造業)	-0.43	
		C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.43	
		C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.43	
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.43	
		C10：中小企業売上高(製造業)	-0.43	
		C9：営業利益(全産業)	0.02	
		C4：稼働率指数(製造業)	0.01	

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。